



# kanto 153

2026.02.14

## 英語の多様性に向き合う英語教育

日時・場所

日 時 2026年02月14日(土曜日) 10:00～17:00

会 場 関東学院大学 横浜・関内キャンパス **受付は13Fです**  
〒231-8328 神奈川県横浜市中区万代町1丁目1-1  
(JR京浜東北線根岸線および横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」より徒歩1分)  
<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/evolution/>

参加費 (会員) 無料 (非会員) 1,000円

\*会場校の学生および教職員はご招待となります。受付で学生証・職員証をご提示ください。

\*当日受付にて現金のみの対応となりますので予めご了承ください。

時 程	10:00～	受付開始
	10:30～12:00	研究発表・実践報告・賛助会員ミニプレゼン(午前の部)
	12:00～13:00	お昼休み
	13:00～14:40	研究発表・実践報告・賛助会員ミニプレゼン(午後の部)
	14:50～15:20	開会式・関東支部賞表彰式
	15:30～16:30	基調講演
	16:30～	閉会式

主 催 外国語教育メディア学会(LET) 関東支部

●事務局●

〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1

関東学院大学建築・環境学部 本沢 彩(モトザワ アヤ)

電話: 045-786-7837 E-mail: [kanto-office@j-let.org](mailto:kanto-office@j-let.org)

研究発表・実践報告・研究支援／発表促進プログラム発表

開始	終了	受付・展示	第3会場 1301 教室	第4会場 1302 教室	第5会場 1306 教室
10:00		13F 受付			
10:30-12:00			<b>研究発表・実践報告</b> 藤永 史尚 (近畿大学)	<b>研究発表・実践報告</b> 今野 勝幸 (龍谷大学)	<b>研究発表・実践報告</b> 柁木 貴之 (北海学園大学)
10:30	11:00	賛助会員 展示  1303 教室  および  1307 教室	① 研究発表 【研究発表促進 PG 対象】 日本人英語学習者による英語のリーディング中の機械翻訳使用と翻訳単位の試行的分析  Carlot Charline (鳴門教育大学) 本沢 彩 (関東学院大学) 阪東 哲也 (鳴門教育大学) 福井 昌則 (三重大学)	② 実践報告  留学派遣・受入プログラムにおける英語教育と日本語能力の育成と協働  平野 美沙子 (お茶の水女子大学) 具 軟和 (お茶の水女子大学) アーノルド あゆみ (信州大学) セレンゲバートル・ムンフゾル (お茶の水女子大学)	③ 研究発表 【研究発表促進 PG 対象】 市販直前パックは共通テストをどの程度反映しているかー語彙と可読性の比較分析  太原 達朗 (早稲田大学)
11:00	11:10		賛助会員発表 A iJapan 株式会社	賛助会員発表 B 株式会社エル・インターフェース	賛助会員発表 C 株式会社アルクエデュケーション
11:20	11:30		賛助会員発表 D チエル株式会社	賛助会員発表 E 株式会社 EdulinX	賛助会員発表 F 株式会社桐原書店
11:30	12:00		④ 実践報告  半匿名電子掲示板活用によるコメントフィードバックの英語ライティングに対する影響とその要因  阿久津 仁史 (中央学院大学)	⑤ 実践報告 【研究発表促進 PG 対象】 EFL 学習者の自由英会話活動を通じた異文化間能力の変容から見る非公式教育の展望  瀧澤 典子 (宇都宮大学)	⑥ 研究発表  チャットボットを用いたスピーキング練習と学習者エンゲージメント：異なる2集団の比較  清水 遼 (筑波大学)

12:00-13:00	<b>お昼休み</b>
<p>休憩室や口頭発表会場をご利用いただけます。 ※ごみはお持ち帰りください。</p> <p>B1F BACON Books &amp; café、1F Nathan-Coffee 188 もございます。 店舗への入り口は 1F から建物を出ていただいた外にあります。</p> <p>1303 教室および 1307 教室の賛助会員展示ブースにも、ぜひお立ち寄りください。</p>	

開始	終了	受付・展示	第 3 会場 1301 教室	第 4 会場 1302 教室	第 5 会場 1306 教室
13:00-14:40			<b>研究発表・実践報告</b> 大久保 雅子 (早稲田大学)	<b>研究発表・実践報告</b> 鬼頭 和也 (国際基督教大学)	<b>研究発表・実践報告</b> 中田 ひとみ (獨協大学)
13:00	13:30	賛助会員 展示  1303 教室  および  1307 教室	⑦ 実践報告  No-Code による AI 支援型 Web アプリケーションの開発  熊井 信弘 (学習院大学)	⑧ 研究発表  キーワード字幕が中国人日本語 学習者の語彙習得に与える影 響とその最適条件の検討  魏薇 (ギビ) (神戸大学)	⑨ 研究発表・実践報告  【研究支援 PG 成果報告】 英語絵本の読み聞かせが読み 手である大学生に与える影響  大津 理香 (茨城大学・筑波大学大学院)
13:40	13:50		賛助会員発表 G 一般財団法人 国際ビジネス コミュニケーション協会	賛助会員発表 H ピアソン・ジャパン株式会社	賛助会員発表 I 株式会社 成美堂
13:50	14:00		賛助会員発表 J 株式会社 BooQs	賛助会員発表 K 株式会社内田洋行	
14:00	14:30		⑩ 実践報告  高等学校におけるランゲージング 実践——「Grammar プレゼン テーション」を用いた主体的文法 学習の試み  土屋 進一 (西武文理大学)	⑪ 研究発表  機関 Can-do リストの CEFR レ ベルとの対応づけに向けた調査と 分析：技能 Can-do リストの Comparative Judgement の手法を用いて  鈴木 美加 (東京外国語大学)	
14:30	14:40		賛助会員発表 J 株式会社プロテスト	賛助会員発表 J 株式会社教育測定研究所	

14:50-15:20

## 開 会 行 事 (第 1 会 場 1201 教 室)

### 第 153 回 関東支部研究大会 開会のご挨拶

外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部支部長 小野 雄一 (筑波大学)

### 2025 年度 関東支部賞表彰式

受賞者：柁木 貴之 (北海学園大学)

受賞対象業績：

1. 『英語教育と国語教育の連携』に対する実践者の認識:英語教員・国語教員にとっての『意義』とは? (LET 関東支部第 151 回 (2024 年度秋季) 研究大会での研究発表)
2. 『英語教育と国語教育の連携』に向けた新課程の英語教科書・国語教科書に関する研究 (LET 関東支部第 152 回 (2025 年度春季) 研究大会での研究発表)

15:30-16:30

## 基調講演 (第 1 会 場 1201 教 室)

講師：藤原 康弘 氏 (名城大学)

講演タイトル：国際英語論に基づく英語教育・教員養成の創造に向けて

要旨：

国際英語の視点は、これからの英語教育と教員養成を構想する上でマストである。本講演では、Global Englishes Language Teaching (GELT) が統合する English as an international language (EIL) ・World Englishes (WE) ・English as a lingua franca (ELF) ・トランスリンガリズム・批判的応用言語学を踏まえ、国内外の研究知見と結びつけながら中高大の授業実践を紹介する。多様な英語への接触活動や指導・評価のモデル、教育内容、および英語の在り方の再検討を通して、学習者がネイティブ主義を相対化し、自他の英語と国際社会を捉え直す学びの過程を報告する。あわせて、本領域の今後の課題を共有し、参加者との対話を通して英語教育・教員養成の新たな可能性を探りたい。

16:30-

## 閉 会 行 事 (第 1 会 場 1201 教 室)

### 閉会の挨拶

外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部副支部長 および 開催校担当

奥 聡一郎 (関東学院大学)

## 会員・関係者の皆様

平素より外国語教育メディア学会関東支部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。日頃より支部活動を支えてくださっている皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、本年度の春の大会は、「英語の多様性」をテーマとして開催されます。グローバル化の進展とともに、英語は特定の地域や話者に限定された言語ではなく、多様な文化的・社会的背景のもとで使用される複数形の英語（World Englishes）として広がりを見せています。こうした状況は、英語教育における規範観や到達目標、さらには「通じる英語」とは何かという根本的な問いを、改めて私たちに投げかけています。

本大会では、World Englishes の枠組みを踏まえつつ、日本の英語教育の現場においてそれらをどのように理解し、指導や評価に結びつけていくことができるのかについて、多角的に検討してまいります。学習者の多様な英語使用実態をどのように捉えるべきか、また、英語を国際共通語として用いる時代において、教育者に求められる役割とは何か。小学校から大学までの各教育段階における実践や研究報告を通じて、World Englishes の視点がもたらす可能性と課題を明らかにし、理論と実践の往還から、今後の英語教育の在り方を展望する貴重な機会となることを期待しております。

本シンポジウムは、国際港湾都市として多様な言語・文化が交差してきた歴史をもつ、横浜・関内の地にて、完全対面形式で開催されます。World Englishes の理念とも親和性の高いこの地において、皆様と直接お目にかかり、活発で実りある意見交換が行われますことを、心より楽しみにしております。

外国語教育メディア学会  
関東支部長 小野 雄一